



カケハシ・プロジェクト（米国） フォローアップ①オンライン同窓会（JET プログラム）の記録

1. プログラム概要

【目的・概要】

本プログラムは、米国及び日本在住のカケハシ・プロジェクト過去参加者（同窓生）がオンラインで、JET プログラム^{（注）}を担当している在米日本国領事館職員及び JET プログラムに参加中のカケハシ・プロジェクト同窓生から同プログラムの紹介を受けることで、同窓生の日本就職への期待を高め、日本への関心を持続させることを目的として実施しました。あわせて、同窓生同士の交流や質疑応答を通して、同窓生ネットワークを強化しました。

（注）JET プログラム：「語学指導等を行う外国青年招致事業」（The Japan Exchange and Teaching Programme）の略称

【参加者】米国、日本（2015 年度～2023 年度のカケハシ・プロジェクト参加の同窓生）合計 28 名
（内訳）米国 24 名（高校生 1 名、大学生 7 名、社会人 16 名）
日本 4 名（高校生 2 名、大学生 1 名、社会人 1 名）

【訪問地】東京都

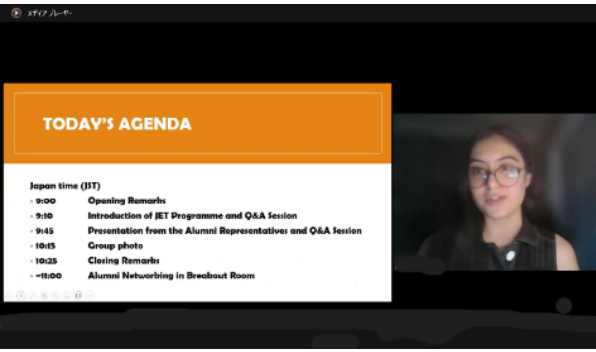
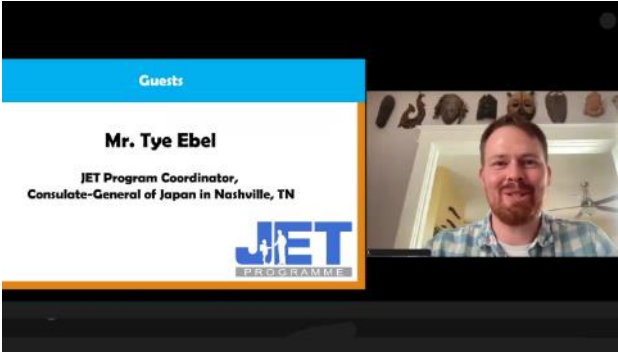
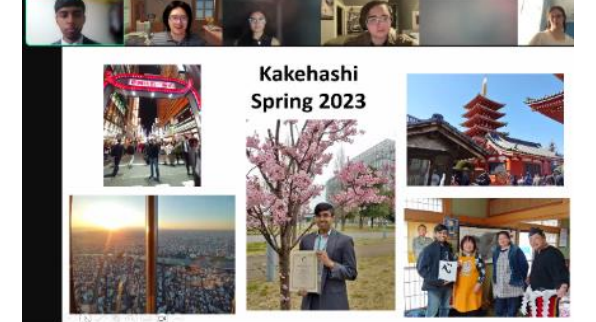
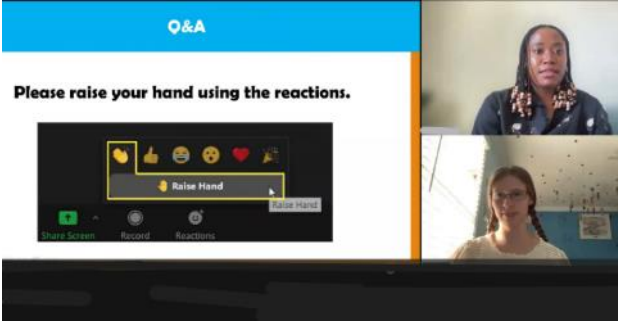
【日程】

■ オンライン同窓会：

2024 年 7 月 6 日（土曜日）

1. 開会
2. プレゼンテーション「JET プログラムの紹介」
担当：在ナッシュビル日本国総領事館 JET プログラムコーディネーター タイ・エベル 氏
3. 同窓生によるプレゼンテーション
(1) 2022 年度カケハシ・プロジェクト同窓生 マシュー・ケビン・メネゼス 氏
(2) 2016 年度カケハシ・プロジェクト同窓生 シェルビー・イレーン・ブレイ 氏
4. 質疑応答
5. 記念撮影
6. グループディスカッション
7. 閉会

2. 記録写真

	
【開会】同窓生委員会による司会進行	【プレゼンテーション①】タイ・エベル 氏
	
【プレゼンテーション②】同窓生による発表	【質疑応答】
	
【グループディスカッション】	【記念撮影】

3. 参加者から寄せられた質問・関心事項（抜粋）

- ・ 担当する学校は1校でしょうか？
- ・ 申請にあたり、語学を教えることや日本語に関連のない職歴も記載すべきでしょうか？
- ・ JETは住居を供給しないとのことですが、住宅探しでどんな経験をされましたか？
- ・ 配偶者、家族を連れて参加することはできますか？

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ 米国 社会人

JET 同窓会プログラムは、適切なペースで進行し、よく構成されており、JET プログラムについて多くの情報を得ることができて非常に驚かされました。タイ氏、マシュー氏、そしてシェルビー氏

は、JET の内情について重要な情報を提供してくれました。さらに一步進んで、JET プログラムでの生活についての情報や考えも共有してくれました。みなさん、それぞれ独自の経験を語ってくれたので、興味深いお話しに引き込まれ、JET に応募する準備ができました。

◆ **米国 社会人**

今日のプログラムでは、JET プログラムへの参加までの過程や、参加への意欲についてお話しいただき、大変興味深く聞かせていただきました。おかげさまで、JET プログラムについてより深く理解することができ、感謝しております。

参加者の皆さんの、プログラム参加後の経験や、その経験を活かしてどのようなステップを踏まれたのか、さらに詳しくお話を伺いたいと思いました。

◆ **米国 社会人**

非常に参考になりましたし、同窓生の皆さんに会って話を聞くことができ、素晴らしい時間を過ごすことができました。

5. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ **講師**

発表者に何人かの現役 JET 参加者とこれから JET に参加する方が含まれていたのも、参加者がプログラムについて、より広い視野を持つことができたのが良かったと感じました。グループディスカッションもとてもうまくいったと思っています。

実施団体：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）